

2023年度 市立函館高等学校 シラバス

| 教科 | 科目 | 単位数 | 年次・コース | 教科担任 | | | | |
|--|--|---|---|---|---|--|---|--|
| 地理歴史 | 世界史B(世界史B演習) | 4 | 3年次・文系 | 未定 | | | | |
| 使用教科書 | 高校世界史改訂版(山川出版社) | | 使用副教材 | ニューステージ世界史詳覧(浜島書店) | | | | |
| 科目の目標 | | | | 道徳教育のねらい | | | | |
| 世界の歴史を、わが国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 | | | | 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。 | | | | |
| 学習活動内容 | | 育てたい6つの力(資質・能力) | | | | | | |
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| | | 主体的学習力 | 基礎力 | 思考・分析力 | 発信・表現力 | 自他認知・協働力 | 計画実行力 | |
| 1 | 第1章 オリентと地中海世界 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 2 | 第2章 アジア・アメリカの古代文明 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 3 | 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 4 | 第4章 イスラーム世界の形成と発展 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 5 | 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 6 | 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 7 | 第7章 アジア諸地域の繁栄 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 8 | 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 9 | 第9章 近代ヨーロッパ世界の展開 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 10 | 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 11 | 第11章 欧米における近代国民国家の発展 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 12 | 第12章 アジア諸地域の動揺 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 13 | 第13章 帝国主義とアジアの民族運動 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 14 | 第14章 二つの世界大戦 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 15 | 第15章 冷戦と第三世界の独立 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 16 | 第16章 現代の世界 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 17 | グループワーク | ◎ | | ○ | ◎ | ◎ | | |
| 18 | 課題提出 | ◎ | | ○ | | | ○ | |
| 19 | 考査 | ○ | ○ | ○ | ◎ | | ○ | |
| 評価の観点 | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | | 技能・表現 | | 知識・理解 | | |
| | 世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。 | 世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、表現する。 | | 世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的な事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。 | | 世界の歴史についての基本的な事柄を、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | | |
| 評価の方法 | 関心・意欲・態度 | | 思考・判断 | | 技能・表現 | | 知識・理解 | |
| | 小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢から、意欲的に取り組んだかを評価する。 | | 定期考査や小テスト、課題などにより、因果関係や課題を発見し多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、表現できるかどうかを評価する。 | | 定期考査や小テスト、課題などにより、情報を活用する方法を身に付け、歴史的な事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現できるかどうかを評価する。 | | 定期考査や小テスト、課題などにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。 | |

世界史B(世界史B演習) 授業計画

| 学習指導計画 | | | | | 実施状況 | |
|--------------------|------------------|-------------------------------------|--|---|--------------------|--|
| 月 (時数) | 単元・考査等 (配当時数) | 学習のねらい | 学習内容 (配当時間) | 単元 実施 時数 | 実施反省 | |
| 前 期 | 4月 | 第11章 欧米における近代国民国家の発展(14) | ・ウィーン体制の特色を理解する。 | 2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生(4) 3 南北アメリカの発展(6) 4 19世紀欧米の文化(2) | 前 期 | |
| | 5月 | 第12章 アジア諸地域の動揺(21) | ・欧米の進出によるアジア諸地域の変化を、地図などの資料を活用して理解する。 | 1 オスマン帝国支配の動揺西アジア地域の変容(7) 2 南アジア・東南アジアの植民地化(4) 3 東アジアの激動(10) | | |
| | 6月 | 前期中間考査(1) | | | | |
| | 7月 8月 9月 | 第13章 帝国主義とアジアの民族運動(33) 前期期末考査(1) | ・帝国主義の背景や、世界分割の過程、その影響を、地図などを用いて理解する。 | 1 帝国主義と列強の展開(11) 2 世界分割と列強対立(11) 3 アジア諸国の改革と民族運動(11) | | |
| 後 期 | 10月 | 第14章 二つの世界大戦(18) | ・二つの世界大戦について、諸資料を活用して理解し、多面的・多角的視野に立って考察する。 | 1 第一次世界大戦とロシア革命(4) 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国(4) 3 アジア・アフリカ民族主義の進展(3) 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略(3) 5 第二次世界大戦(4) | 後 期 | |
| | 11月 | 第15章 冷戦と第三世界の独立(8) | ・冷戦と第三勢力の動向を理解し、戦後社会の課題を考察する。 | 1 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立(2) 2 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興(2) 3 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り(2) 4 石油危機と世界経済の再編(2) | | |
| | | 第16章 現代の世界(8) | ・1980年代以降の国際社会の状況を理解するとともに、科学技術などがもたらす現代文明の問題点を考察する。 | 1 社会主義世界の変容とグローバル化の進展(2) 2 途上国の民主化と独裁政権の動揺(2) 3 地域紛争の激化と深刻化する貧困(2) 4 現代文明の諸特徴(2) | | |
| | 12月 | 後期中間考査(1) 復習と演習(15) | ・地理的な視点を意識しながら、歴史的事象の相互関係を考察する。 | プリントなどを用いた復習と演習(15) | | |